

案件3 彼方上地区における既存タクシーを活用した実証実験の結果報告

令和7年度 第6回
富田林市交通会議 資料3

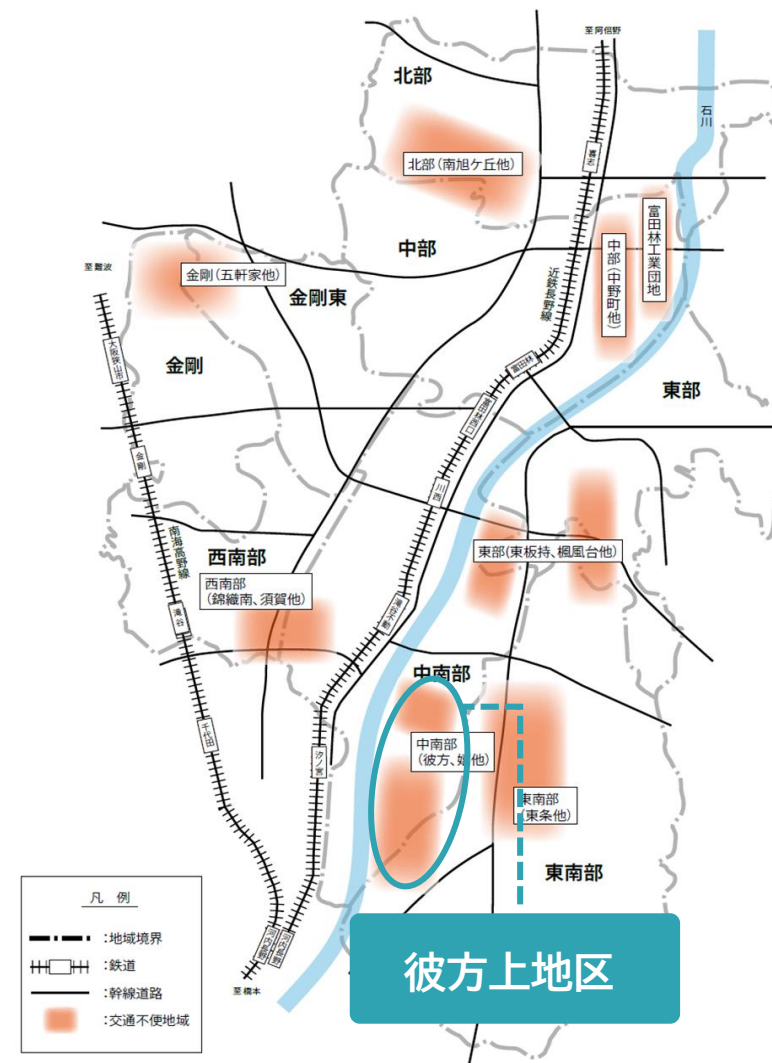
目次

- 1 彼方上地区とは
- 2 これまでの経過
- 3 実証実験の位置づけ・目的
- 4 実証実験の概要
- 5 利用実績(速報値)
- 6 利用実績(速報値)のまとめ
- 7 今後について

1 彼方上地区とは

- ✓ 主催:彼方上7町会まちづくり協議会
- ✓ 活動地域:彼方上7町会(富田林市大字嬉、横山、伏見堂)
- ✓ 人口:1,331人(令和7年3月時点。以下同じ。)
- ✓ 世帯数:693世帯 高齢化率(※):43.7%
- ✓ 地域の特徴:高齢化により、移動困難者が増えている。
また、坂道や狭い道が多く、徒歩移動が困難な方が増えている。

※高齢化率:地域の人口に対する65歳以上の高齢者が占める割合



2 これまでの経過

平成30年	4月 6月～12月	公共交通の検討を開始 第1回・第2回ワークショップ
平成31年	4月	住民アンケートの実施
令和2年	1月	第3回ワークショップ、その後コロナ禍により検討を休止
令和3年	10月 12月	休止していた公共交通の検討を再開 地域による運行計画(案)の検討
令和4年	7月 11月1日	富田林市交通会議による実証運行の承認 彼方上地区地域公共交通「上セブン号」第1回実証運行(12月28日まで)
令和5年	3月 8月	実証運行後の住民アンケートの実施 勉強会の開催
令和6年	3月～5月 9月 11月	第2回実証運行の計画案及び利用促進策について協議 第2回実証運行に対する需要の見極め及び機運醸成のため、既存のタクシーを活用した実証実験の実施を決定 富田林市交通会議で既存のタクシーを活用した実証実験(案)の承認
令和7年	～10月 10月15日～ 12月14日	実証実験の開始に向け、機運醸成策の検討、及び実施 既存のタクシーを活用した実証実験を実施

3 実証実験の位置づけ・目的

本実証実験は、第2回実証運行に向けた需要および利用実態を把握することを目的として、既存のタクシーを活用し、実施した。

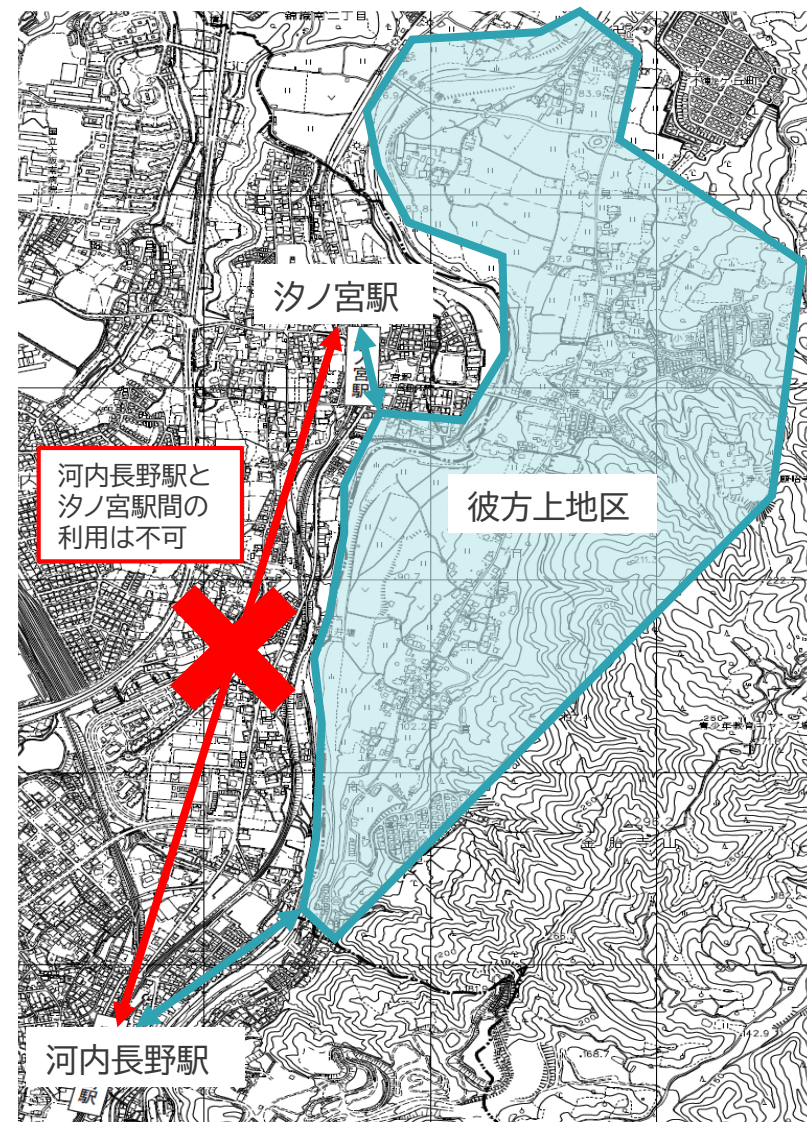
また、目標収支率は、**第2回実証運行計画案に基づき、乗合タクシーと既存のタクシーを活用した場合との損益分岐点である30%とした。**



4 実証実験の概要

本実証実験の概要は、以下のとおりである。

項目	内容
利用対象者	彼方上地区の住民及び彼方上地区へ来訪される方でタクシー券をお持ちの方
適用エリア	河内長野駅または汐ノ宮駅と彼方上地区との相互区間及び彼方上地区内を発着とする場合のみ適用
期間	令和7年10月15日(水)から12月14日(日)までの2か月間
時間	期間中毎日、午前9時～午後5時
料金 (利用者負担額)	1人につき、大人300円(障がい者・小児は半額)



実証実験エリア

5 利用実績(速報値)

1日あたりの平均利用人数(月別)

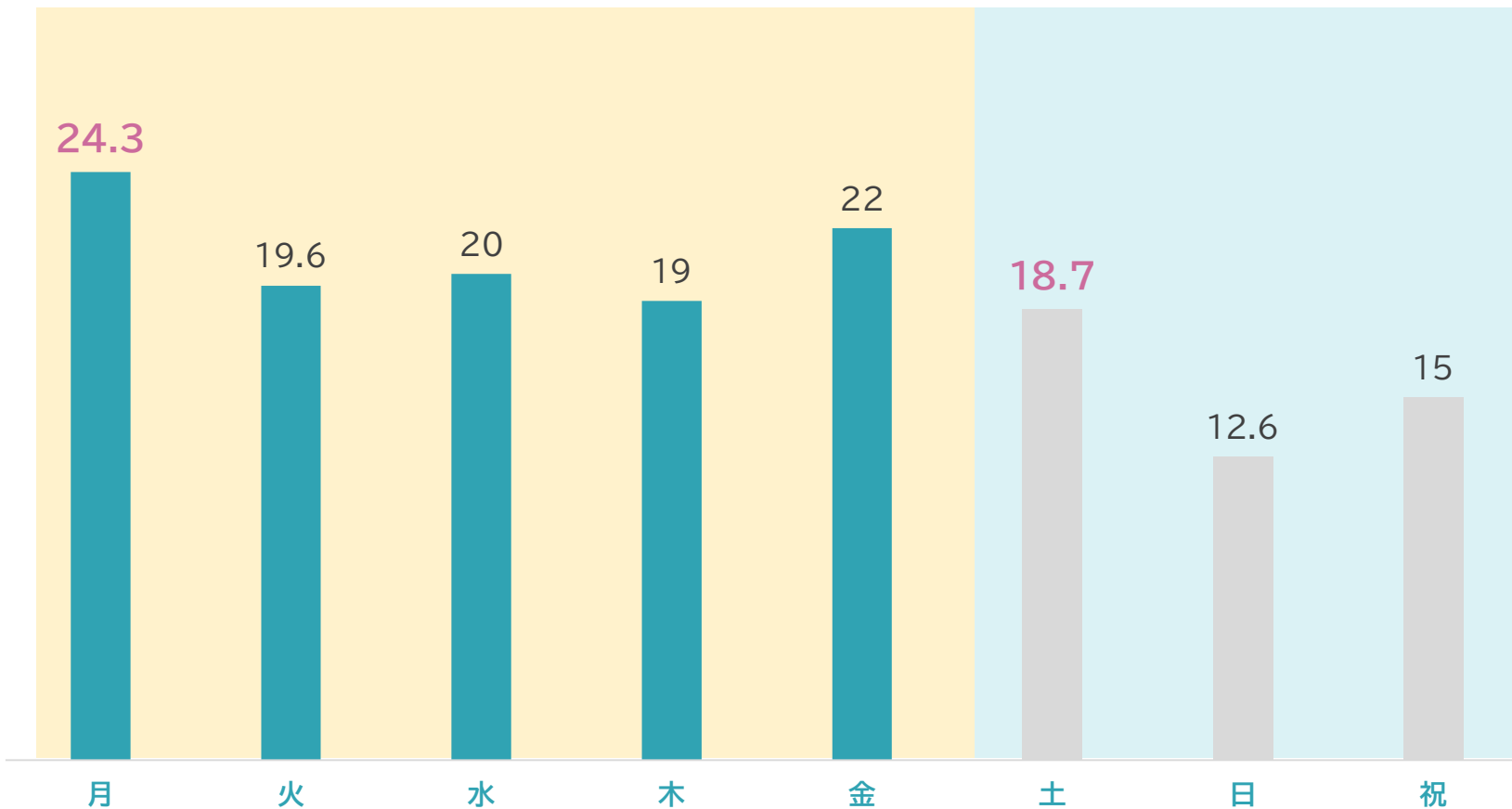
- 全月で見ると、1日あたりの平均利用人数は、19.1人となった。
- 月別にみると、利用は期間を通じて安定しており、12月には1日あたりの利用人数が増加している。

	10月15日~31日	11月1日~30日	12月1日~14日	合計
大人	286人	514人	328人	1,128人
小児	1人	0人	0人	1人
障がい者	11人	13人	11人	35人
合計	298人	527人	339人	1,164人
1日あたりの平均利用人数	17.5人	17.6人	24.2人	19.1人

5 利用実績(速報値)

■ 曜日別・1日あたりの平均利用人数

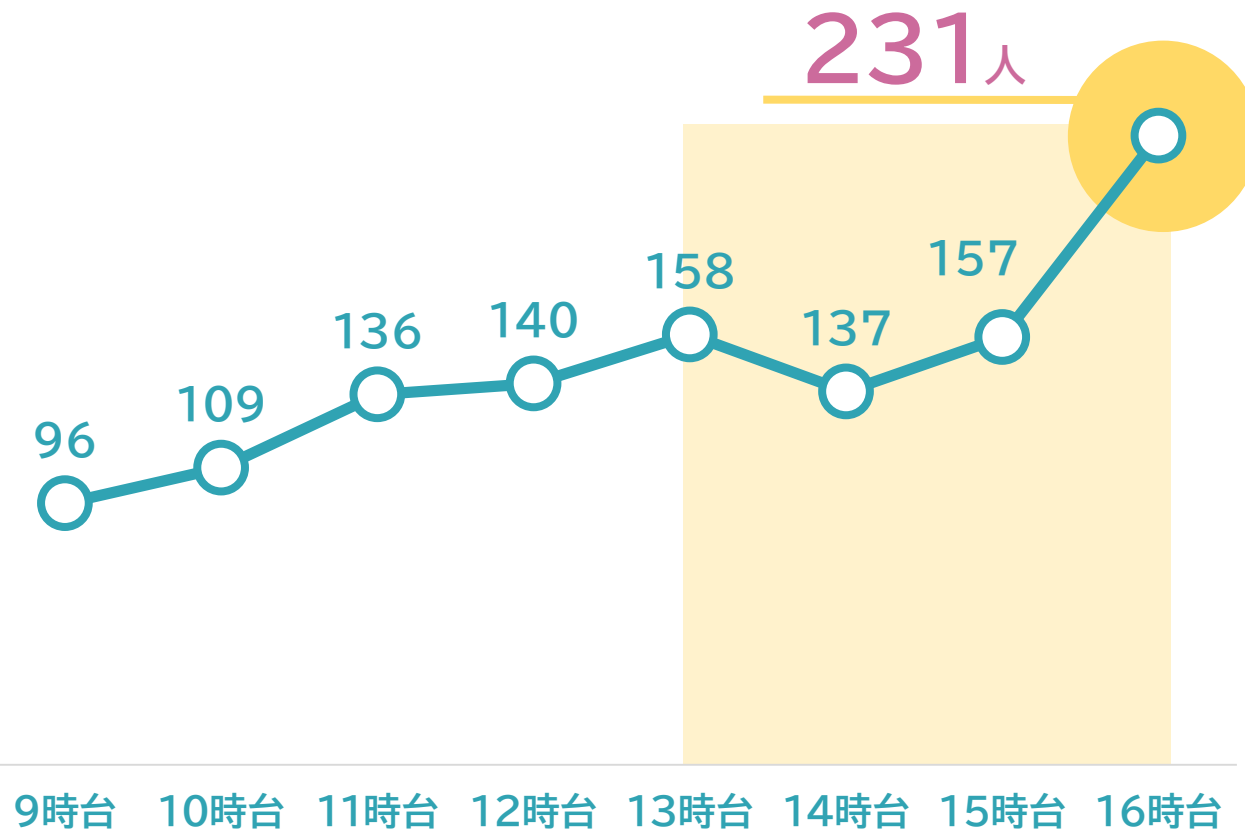
平日では、月曜日の利用が最も多く、土曜日・日曜日・祝日では、土曜日の利用が最も多い。



5 利用実績(速報値)

■ 利用時間帯

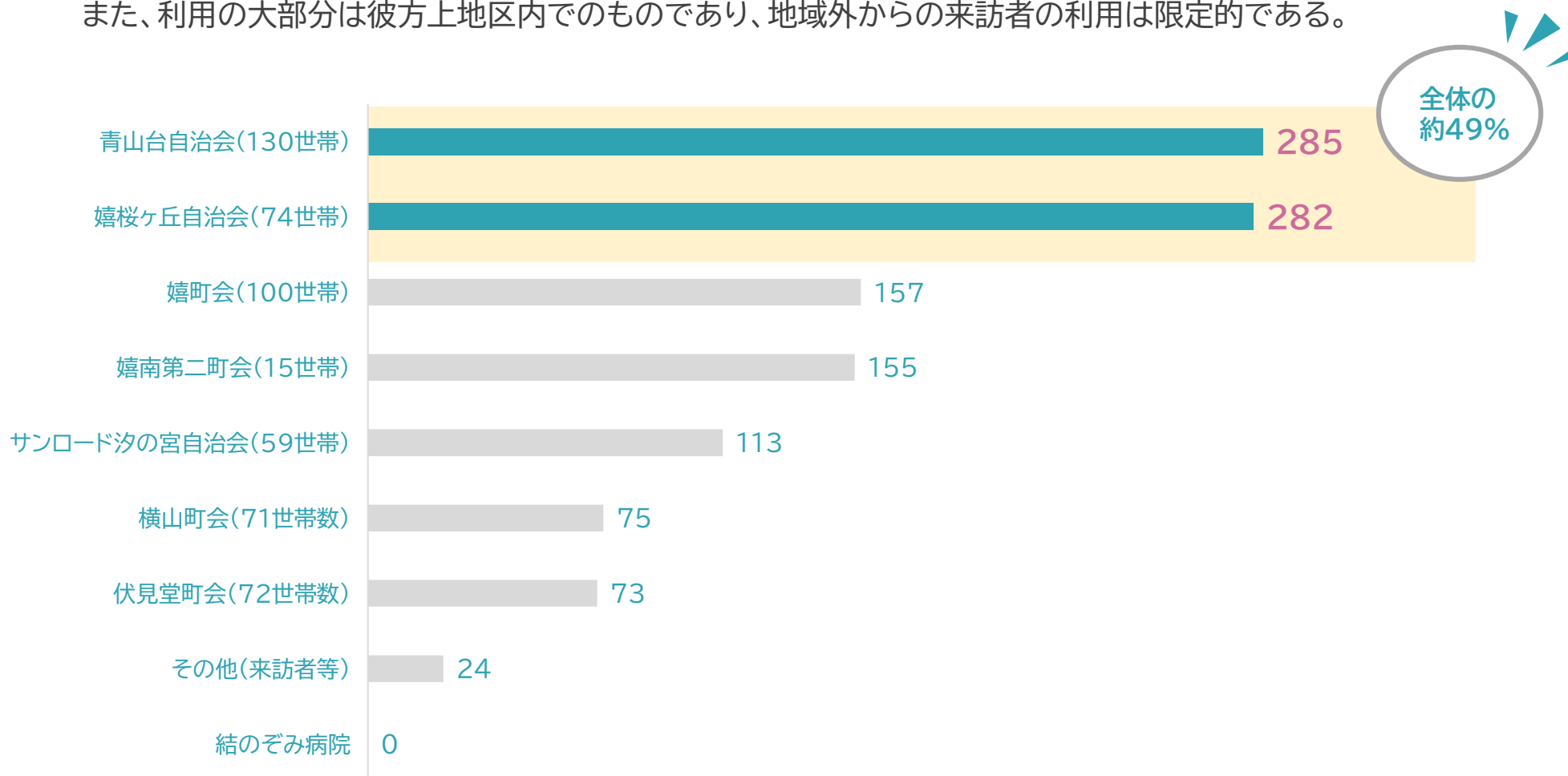
- 午前中から昼にかけて上昇し、13時台に一旦ピークを迎える。その後、14時台に一時的に減少するが、夕方にかけて再度大きく増加する傾向が見られる。
- 16時台が最も高い数値を記録しており、この時間帯に利用が集中していることがわかる。
- 9時台が最も数値が低い時間帯であった。
- 昼食の時間帯である12時台~13時台にかけても利用が増える傾向が確認できる。



5 利用実績(速報値)

■ 地区別の利用状況

青山台自治会、嬉桜ヶ丘自治会が特に多く、利用者の約49%を占める結果となった。
また、利用の大部分は彼方上地区内でのものであり、地域外からの来訪者の利用は限定的である。



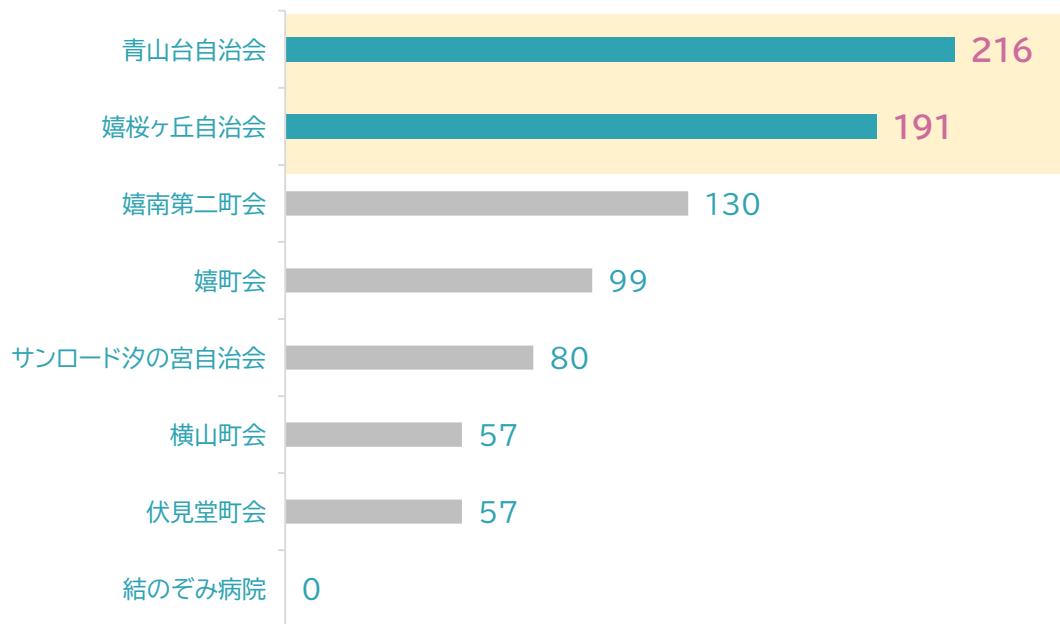
5 利用実績(速報値)

河内長野駅発着別

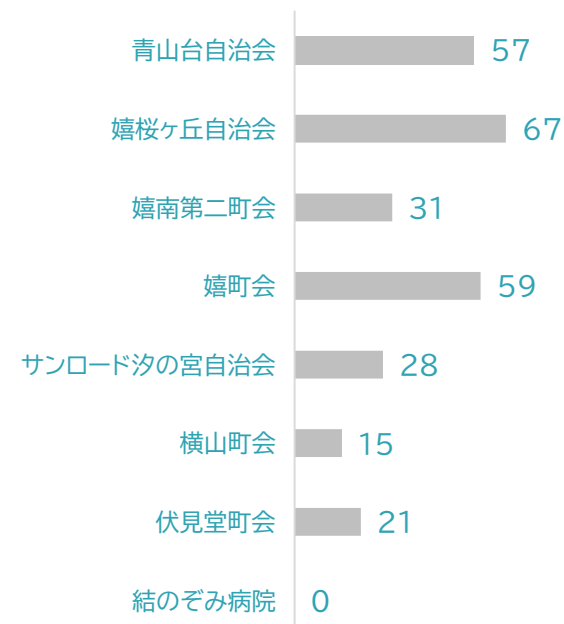
- 河内長野駅から彼方上地区への移動手段としての利用が全体の約72%を占めていることが確認できた。
- 彼方上地区から河内長野駅への移動手段としての利用は、全体の約24%であった。

⇒河内長野駅発着が全体の約96%を占めており、河内長野駅への移動需要がかなり高いことが示唆される。

河内長野駅 ⇒ 彼方上地区



彼方上地区 ⇒ 河内長野駅



※その他(来訪者等)含む

5 利用実績(速報値)

■ 汐ノ宮駅発着別

汐ノ宮駅から地区、また地区から汐ノ宮駅への移動手段としての利用は少なかった。

乗車場所		降車場所	件数
汐ノ宮駅	～	嬉桜ヶ丘自治会	2
//	～	嬉町会	2
//	～	サンロード汐の宮自治会	3
嬉桜ヶ丘自治会	～	汐ノ宮駅	18
嬉町会	～	//	2
サンロード汐の宮自治会	～	//	2
横山町会	～	//	4
青山台自治会	～	//	7

5 利用実績(速報値)

■ 地区内発着別

地区から地区への移動手段としての利用は、非常に少なかった。

乗車場所		降車場所	件数
嬉桜ヶ丘自治会	～	嬉桜ヶ丘自治会	2
嬉町会	～	サンロード汐の宮自治会	2
//	～	横山町会	1
横山町会	～	嬉町会	1
青山台自治会	～	横山町会	4

6 利用実績(速報値)のまとめ

■ 本実証実験における主な利用傾向

曜日別の利用傾向

- └ 1日あたりの利用人数を見ると、平日では月曜日が、土曜日・日曜日・祝日では、土曜日の利用が最も多かった。

利用時間帯の傾向

- └ 利用時間帯は、午前中から午後にかけて徐々に増加し、16時台が最も多い結果となった。
特に、11時台以降の利用が増加し、13時台から16時台にかけて高い利用水準が続いている。

このことから、日中の外出を終えた後、**帰宅のための移動手段として多く利用されている**可能性が示唆される。

6 利用実績(速報値)のまとめ

■ 本実証実験における主な利用傾向

地区別の利用状況

└ タクシーの利用は、特に**青山台自治会、嬉桜ヶ丘自治会において需要がある**ことがうかがえる。

彼方上地区へ来訪での利用も一部確認されたが、件数は少なく、このことから、本実証実験における**主な利用者は彼方上地区の住民**であると考えられる。

移動需要の傾向

■ 河内長野駅

└ 本実証実験において、タクシー利用の大部分は河内長野駅を発着点とする移動であった。

└ 河内長野駅から地区への移動が全体の約72%を占めたが、一方で、地区から河内長野駅への移動は少なく、全体の約24%となった。

└ 河内長野駅から地区への利用が多い一方、地区から河内長野駅への利用が少ないことから、往路においては家族による送迎等、別の移動手段が選択されている可能性が考えられる。

■ 汐ノ宮駅および地区内発着

└ 汐ノ宮駅および地区内の発着は、非常に少数であり、利用は限定的であった。

このことから、**彼方上地区の住民は、河内長野駅への移動需要がかなり高い**ことがうかがえる。

6 利用実績(速報値)のまとめ

今回の実証実験により、彼方上地区では、以下の傾向が確認された。

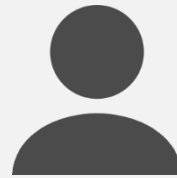
Point1



移動需要

- 利用は河内長野駅を起点とする移動に集中
- 汐ノ宮駅発着および地区内移動は限定的

Point2



地区別の利用状況

- 青山台自治会、嬉桜ヶ丘自治会が特に多い

Point3



利用時間帯

- 日中から夕方にかけての利用が多い

6 利用実績(速報値)のまとめ

■ 第1回実証運行との比較

目標とする30%には達しなかったものの、令和4年度に実施した第1回実証運行と比較すると、1日あたりの収支率は2倍以上に増加した。

1日あたりの平均利用人数は3倍以上に増加したが、第1回実証運行当時から運行経費が高騰していることもあり、1日あたりの収支率は2倍程度となっている。

	令和4年度実施 第1回実証運行	実証実験	目標
1日あたりの 平均利用人数	5.7人	19.1人	42人
1日あたりの収支率	5.56%	13.6%	30%

(参考1)実証実験における1日あたりの収支率の算出方法

(参考2)第1回実証運行1日あたりの運行経費:30,800円

○実証実験期間中の利用者合計

⇒1,164人 × 300円 = 349,200円 (㉠)

○第2回実証運行計画に基づく運行経費合計

⇒1日あたりの運行経費 42,000円 × 61日 = 2,562,000円 (㉡)

㉠ ÷ ㉡ × 100 ≒ 13.6%

7 今後について

本実証実験の結果から、タクシーは彼方上地区における移動需要を補完する手段として、一定の役割を果たしていることが確認された。

今後は、アンケート調査を実施し、住民の意見踏まえながら、今後の運行計画について検討を進めていく予定である。

